

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

講演、蚕影山例祭、大施食会、檀信徒総会

平成30年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/11 大般若大施食会法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 檀家総会
- 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区盂蘭盆会
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/1~8/2 第37回子供禪の集い
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 8/19 地域防災避難訓練
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 11/5~11/7 宗務所檀信徒本山研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週土曜日 華道教室
- 宗務所執務日 月・水・金曜日
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催

本年4月29日、龍源寺総代世話人様始め多くの檀信徒ほか皆様のご協力を以て、恒例の伝統の行事を勤める事が出来ました。

当山仮本堂に於いて恒例の蚕影山例祭、大施食会が法縁のある御寺院様ご随喜の下、多数の檀信徒が集い、修行されました。仮本堂だけでは入れない方の為に、境内車庫に椅子を並べ参列し、お焼香が出来るように準備を致しました。仮本堂での同法要は最初で最後かと思えますが、ご不便をお掛け致しました事、お詫び申し上げます。

また、本年は法要に先立ちまして、当山本堂新築再建工事を施工して下さっている上州を代表する宮大工・堂宮入秀社寺建築株式会社棟梁の入内島秀男師に、新本堂説明会及び講演を賜りました。先ず本堂の説明をしていただき、その後の講話では、宮大工としてのご自身の来歴や矜持をご披露いただき、非常に感銘を受けました。誠に有難うございました。



↑ 仮本堂での法要風景



堂宮入秀社寺建築棟梁の入内島秀男師による説明と講話

スリランカ仏教蘭華寺シイラ長老 スリランカ マエバシ幼稚園園長来山

去る5月25日、スリランカより蘭華寺シイラ長老、マエバシ幼稚園園長先生他関係の皆様方が、仁叟寺にご来山いただきました。

当日は、群馬県曹洞宗青年会会員有志が集い本堂で諷経、拝観の後、欣光閣にて歓談。スリランカ大菩提会より贈られた仏足石前にて記念集合写真を撮影いたしました。

本年2月に、同会が寄贈し落慶を果たしたマエバシ幼稚園の答礼と園長先生の日本研修に合わせ当山に見えられました。



本堂での法要後欣光閣にて歓談。スリランカ大菩提会より贈られた仏足石前にて

風外慧薫禅師生誕450年報恩法要、禅文化の会



↑ 法要後、本堂にて記念集合写真撮影

様、安中市長源寺様、同補陀寺様に拝登し、更に7月16日迄安中学習の森で開催されている風外慧薫禅師特別展に伺いました。

本年は、曹洞宗禅画の祖と称えられる風外慧薫禅師生誕450年となり、師の生誕地であるここ上州にて春季の、住職地及び洞窟に籠もり托鉢行をされた相模小田原にて秋季の結集を企画しております。また総会に先立ち、曹洞宗群馬県宗務所所長である仁叟寺住職導師のもと、風外慧薫禅師生誕450年報恩諷経が参加者関係各位40名にて執り行われました。

ほか中国より当山に見えられた中国古代楽器演奏家であり尼僧さん2名による演奏も行われ、花を添えていただきました。

準備にお手伝いをいただきました法友の尾山師始め日本全国よりご参集いただきました会員諸老師、当山総代の皆様、誠に有難うございました。

去る5月16日～17日、曹洞宗禅文化の会（旧称・洞上禅文化墨蹟研究会）の第31回結集及び総会が仁叟寺にて修行されました。当寺のほか甘楽町宝積寺



↑ 風外慧薫展ポスター

↓ 仁叟寺所蔵墨蹟を本堂、欣光閣等に展示



新本堂工事経過報告

昨年12月末日を以て新本堂の屋根工事は完了し、立派な葺屋根が聳え立ちました。その後、電気工事が木村電気商会様により施工されました。

また、本年6月を以て、宮大工堂宮入秀社寺建築株式会社様担当分の施工は、一先ず完了いたしました。寺院特有の火燈窓が映え、内部には檜材の大きな丸柱が立派に立っております。本尊様ほか諸尊像、蚕影山様を安置する場所のほか、位牌棚も完成しております。

現在、檀家さんであり建設委員でもある田中左官工業様により、左官工事が施工されております。画家の荒木孝子先生による天井絵も進んでおり、これから内装・建具・塗装・畳・絨毯等ほかの工事が行われる予定です。

来年4月29日の落慶を目指し、本堂建設委員会を中心とした関係者一同、会議等で慎重審議を重ね、精進をさせていただいております。引き続き、宜しくご理解ご協力の程、お願い申し上げます。



↑ ↓ 新本堂外観（平成30年6月撮影）



← 新本堂出入口風景
→ 新本堂内部の様子



施食会終了後に、文書にてお願いをいたしました。建設に際し、予算の不足が生じております。多くの方々のご協力を仰ぎ、此処まで参りました。恐縮乍ら、志のある方の更なるご寄進を冀うところであります。合掌

梅花流全国大会修行

5月23～24日、平成30年全国梅花流詠讚歌奉詠大会が、梅花流発祥の地である静岡県は静岡市の「このはなアリーナ」に於いて開催されました。

群馬県では、宗務所長である仁叟寺住職が県梅花講長を務めており、大型バス5台凡そ140名を引率し、大会に参加。仁叟寺及び龍源寺からも一級詠範である渡辺恵津子寺族ほか梅花講員さんが同大会に参列しました。

会場では曹洞宗梅花流のゆるキャラ「ばいかくん」「ばいかさん」もお出迎え。日本全国また海外より一万人以上の講員さんを迎え、本年も無事盛会裏に修行いたしました。

なお、当山梅花講では新たな講員さんを募集中です。



↑大会風景



↑ばいかくんのお出迎え

梅花流詠讚歌のススメ ～講員さん募集中～



←梅花流詠讚歌奉詠風景

梅花講とは、曹洞宗の寺院に所属する講で、み仏の教えを詠讚歌としてお唱えをいたします。住職が以前、宗務所に奉職していた際には、梅花主事として県内梅花講の事務及び県大会の企画運営をさせていただきました。その縁もあり、現在当山の講長をつとめ、仁叟寺にて隔週水曜日に住職母の渡辺恵津子一級詠範が指導役となり、稽古を重ねております。県大会、全国大会もあり、先日に入講員さんも加入。和気藹々と活動しております。老若男女問わず入講出来ますので、希望者は当山までお問い合わせ下さい。

寺の猫「コンブ」♂

昨年6月に太田市の霊雲寺様より、当山に来て一年経

ちました。すくすく元気に育っております。宜しくお願ひします。



行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

本年5月に、地元吉井中央中学校の社会体験学習「やるベンチャー」の受入れを仁叟寺にていたしました。中学2年生の生徒2名が丸4日間に亘り、寺院にて社会体験をいたしました。作務(清掃作業)を中心に、写経・読経・坐禅・華道体験等寺院ならではの活動を一所懸命に行じました。これからの生活に於いて、良き経験になってくれれば幸いです。

→華道の作品

